

日本デルモンテ長野工場跡地について

令和 5 年 10 月、市内桜堂地籍の日本デルモンテ長野工場を令和7年6月までに閉鎖することが親会社であるキッコーマン(株)より発表されました。市ではキッコーマン(株)と面談を重ねる中で、「市で土地を買い取ることは難しいが、千曲市の中心市街地でもあるため、地域の活性化につながる跡地の利用をお願いしたい」との希望をお伝えしました。

キッコーマン(株)としても 60 年以上という長きにわたり工場の稼働を続けたことで千曲市に恩返しをしたいという気持ちが大いことから、市の意向に沿う土地利用を考えている民間企業を探していくとの回答をいただきました。

しかしながら、キッコーマン(株)へ提出された数社からの後地利用の提案は、いずれも市の意向に沿うものではなかったため、令和7年 12 月に市長がキッコーマン(株)の東京本社を訪問した際に、中野社長から「工場跡地を市で買い取っていただけないか」との打診があり、庁内で検討を進めてきました。

同地は屋代駅前の優良地であり、清泉大学農学部の開設で若者の往来も増え、地域の活性化にとって重要な場所であるとの認識から、簡易的なまちづくり方針(仮称)を策定した上でサウンディング型市場調査を行い、それに沿った土地利用を希望する事業者がいる場合には市で土地を一次的に買い取り、条件を付して民間事業者へ売却する方向で進めていくこととしました。

<これまでの経過と今後の予定>

- ・令和7年 6月 工場閉鎖
- ・令和7年12月 キッコーマン(株)中野社長と小川市長が面談 市による買取の打診を受ける
- ・令和8年 5月 市が関与する方針決定
- ・令和8年 6月 キッコーマン(株)において千曲市への土地売却について適時開示(株主への公表)
市においても買い取りを前提にサウンディング型市場調査を行うことを経済建設常任委員会に報告
- ・令和8年 8月 日本デルモンテ長野工場跡地を活用したまちづくり方針(仮称)の策定
- ・令和8年 9月 サウンディング型市場調査(所要約3か月)
- ・令和8年12月 市が土地を購入するか否かを判断

なお、サウンディング型市場調査の結果、まちづくり方針に沿った開発事業者が現れなかった場合、市が関与する理由がなくなるため事業を進めないこととし、その旨をキッコーマン(株)に伝達します。その後はキッコーマン(株)の考えに基づき、売却先を決定していただくこととなります。